

高等学校理科 高等学校 考える物理基礎 (物基 706)

令和 5 年度用教科書では以下について訂正いたします。ご迷惑をおかけいたしますこととお詫び申し上げますとともに、ご指導に際しましては、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

(株)新興出版社啓林館編集部

訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
ページ	行			
37	19	$\frac{2v_0^2 \sin\theta \cos\theta}{g} \left(= \frac{2v_0^2 \sin 2\theta}{g} \right)$	$\frac{2v_0^2 \sin\theta \cos\theta}{g} \left(= \frac{v_0^2 \sin 2\theta}{g} \right)$	誤記
104	8-9	<u>物質の状態が固体から液体へと変わる温度を融点, 液体から気体へと変わる温度を沸点という。</u>	<u>固体が融解し液体になるときの温度を融点, 液体が沸騰し気体になるときの温度を沸点という。</u>	融点および沸点についての記述をより正確な表現にするため

◆周期表の更新のお知らせ◆

ページ	行	令和 5 年度用
203		<p>(左上の説明文を更新) 最新(2022年)の原子量をもとに (リチウムの原子量を更新) <u>6.94</u>[*] (リチウムの原子量の更新に伴って文章を追加)</p> <p>※人為的に⁶Liが抽出され、リチウム同位体比が大きく変動した物質が存在するために、リチウムの原子量は大きな変動幅をもつ。したがって、本表では例外的に3桁の値が与えられている。なお、天然の多くの物質中でのリチウムの原子量は6.94に近い。</p>